

(2) インフラメンテナンス

① 社会資本の戦略的維持管理・更新

「北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づく長寿命化の取組など社会資本の老朽化対策を推進します。

■ 北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）における施策の方向性

重点的に取り組む3つの柱

- (1) メンテナンスサイクルの構築
- (2) トータルコストの縮減・平準化
- (3) インフラ長寿命化に向けた推進体制の整備

(1) メンテナンスサイクルの構築

- 点検・診断に係る技術的知見やノウハウの蓄積
- 施設の諸元や整備履歴など、蓄積された情報の利活用
- 管理水準の設定や点検頻度を規定した基準類の整備

→ 個別施設計画の策定・充実



(2) トータルコストの縮減・平準化

① 予防保全型維持管理の導入検討

「事後保全型維持管理」を見直し、損傷が軽微な早期段階に予防的な修繕等で機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の導入を検討

② インフラ機能の適正化

まちづくりの観点などから関連する市町村等と連携を図り、施設の廃止や撤去、用途変更や集約化などを検討

③ PPP/PFIの活用

老朽化対策に向けたトータルコストの縮減・平準化の手法の一つであるPPP/PFI手法を積極的に活用し、戦略的・効率的な社会資本の整備を推進

④ 新技術等の導入

道の「新技術情報提供システム」や、国の「NETIS維持管理支援サイト」等を利用するなど、民間企業等により開発された有用な新技術の活用を促進

(3) インフラ長寿命化に向けた推進体制の整備

- 老朽化対策の推進を担う専門部会「インフラ長寿命化推進会議」を設置し、全庁横断的な体制で取組を推進
- 職員の技術力確保、国や市町村との連携、地域住民等利用者の理解と協働を推進

■社会資本の老朽化対策

- ・北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき社会資本の老朽化対策を計画的に推進します。

▼橋梁



対策後



▼舗装



対策後



▼公園



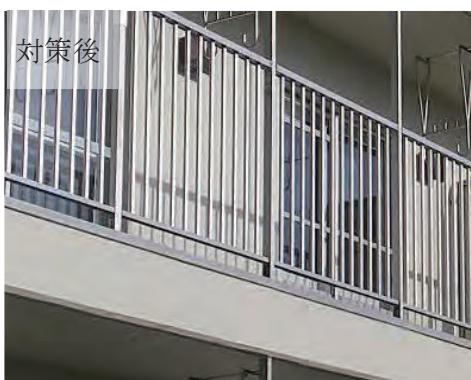
対策後



▼公営住宅



対策後



▼樋門



対策後



▼海岸



対策後



■施設管理の体制づくり等

- ・職員の育成や確保
北海道の土木技術職員の仕事などをインターネットで公開。
公共土木施設の維持管理に関する説明会を開催。
新任技術職員研修等において、長寿命化の取組を説明。
- ・他施設管理者との連携等
北海道下水道技術調整会議を年1回開催。
北海道道路メンテナンス会議へ参加し、市町村支援や道の取組について情報提供。
- ・利用者の理解と協働の推進
老朽化対策等に関するパネル展を実施。
市民団体等と連携した維持管理の実施。
- ・人づくりの強化
建設業協会等との連携。
高校生を対象とした懇談会の開催。

こちらのQRコードからYouTube視聴できます！



土木技術職員の仕事紹介

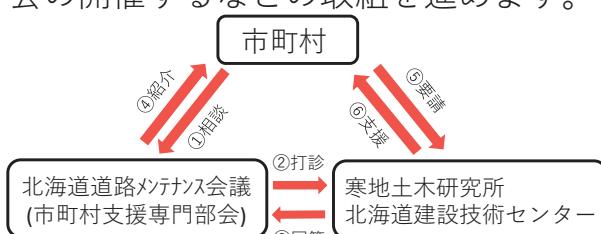


機能診断研修



■北海道道路メンテナンス会議における市町村支援等

- ・北海道開発局、北海道、札幌市、東日本高速道路(株)北海道支社から構成される北海道道路メンテナンス会議において、市町村職員の技術力向上を図るため、橋梁点検講習会の開催するなどの取組を進めます。



■主な支援内容

寒地土木研究所：技術的な相談等

北海道建設技術センター：点検・診断等の地域一括発注の調整
積算に関する助言等



<北海道における橋梁の点検・診断等の一括発注の状況>

全道179市町村のうち、88市町村(49%)で実施

- 平成26年度：3市町村 (100橋)
- 平成27年度：16市町村 (448橋)
- 平成28年度：73市町村 (2,714橋)
- 平成29年度：63市町村 (2,417橋)

- 平成30年度：38市町村 (696橋)
- 令和元年度：33市町村 (693橋)
- 令和2年度：45市町村 (1,326橋)
- 令和3年度：58市町村 (1,570橋)